

平成24年11月10日
社団法人新潟県薬剤師会
在宅医療スキルアップ研修会

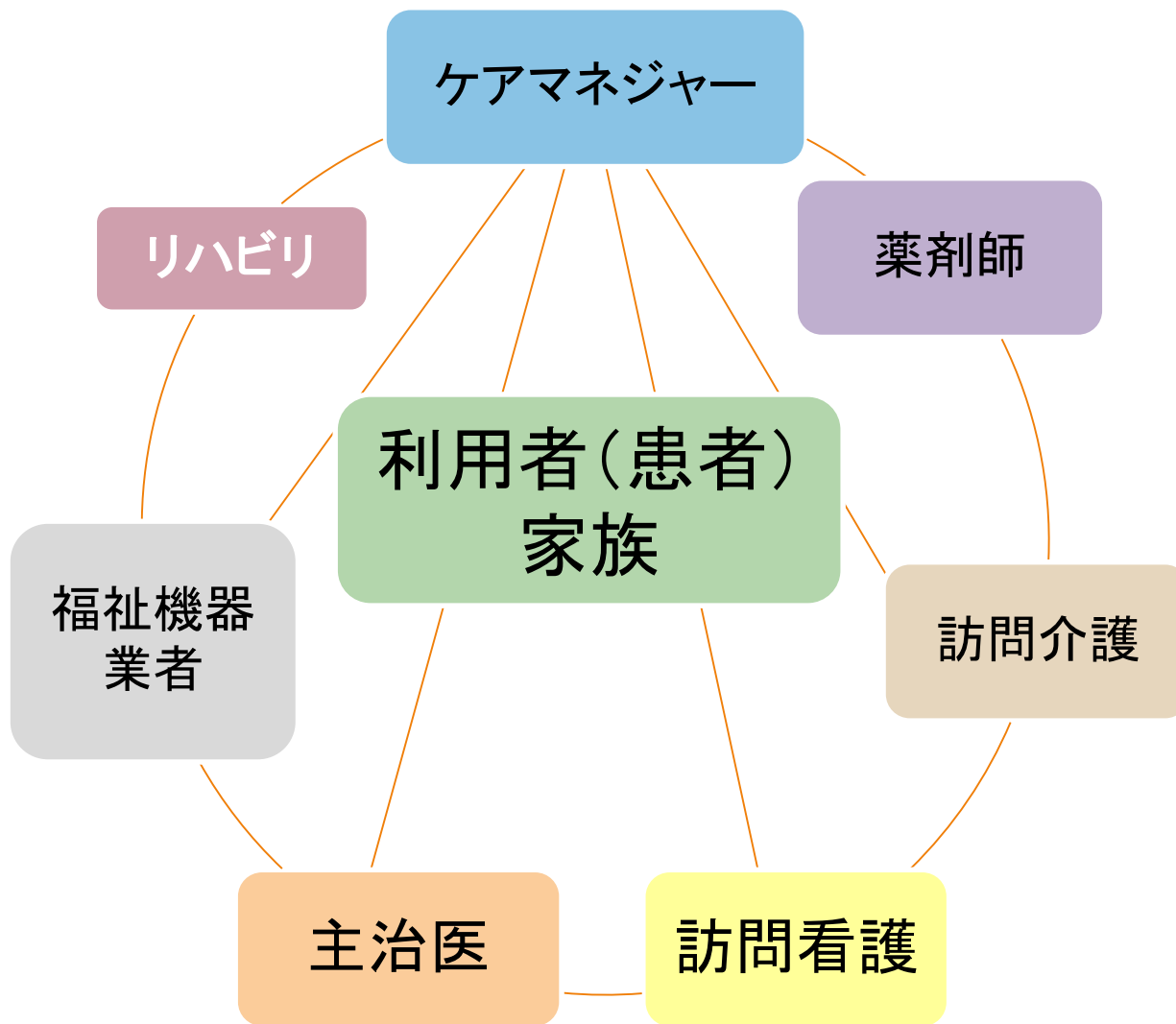
訪問しなければわからなかった 在宅高齢者・家族の生活

ゆきよしクリニック
ゆきよし訪問看護ステーション
三村 健

入院, 外来, 入所, 通所での勤務経験があります。

- 北海道勤医協札幌丘珠病院
- 同 苫小牧病院
- 新潟勤医協下越病院
- 同 舟江病院
- 介護老人保健施設関川愛広苑
- 介護老人保健施設新井愛広苑
- 介護老人保健施設みそのぴあ
- ゆきよしクリニック・ゆきよし訪問看護ステーション

地域における多職種連携



1. 訪問リハビリテーション(訪問リハ, 訪リハ)について
2. 訪問リハビリと薬の関係 (アンケート調査より)
3. 訪問してみてもわかったこと

車いすに乗ったおばあちゃんが、
洗面所で手が届くように、お嫁さんが考え出した工夫



当クリニックの訪問リハビリの特徴

- 訪問に関わるスタッフ数：
26名（PT16名，OT8名，ST2名）
- 各患者の必要な訪問頻度に対応が可能であり，
必要であれば，年単位での継続した訪問も可能。



“訪問リハ”と，“訪問看護”

	介護保険		医療保険	
制度上の位置づけ	訪問リハビリテーション費	訪問看護 I 5 (旧訪問看護7)	在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料	訪問看護基本療養費
対象者	介護保険利用者		介護保険非対象者 厚労省の定める疾患(難病等)	
主治医から指示医への情報提供	要(3ヶ月毎)	不要 (1~6か月毎の主治医からの直接指示)	要(1ヶ月毎)	不要 (1~6か月毎の主治医からの直接指示)
指示医の診察	要(3ヶ月毎)	不要	要(1ヶ月毎)	要(1ヶ月毎)

疾患による分類

脳血管障害

神経難病

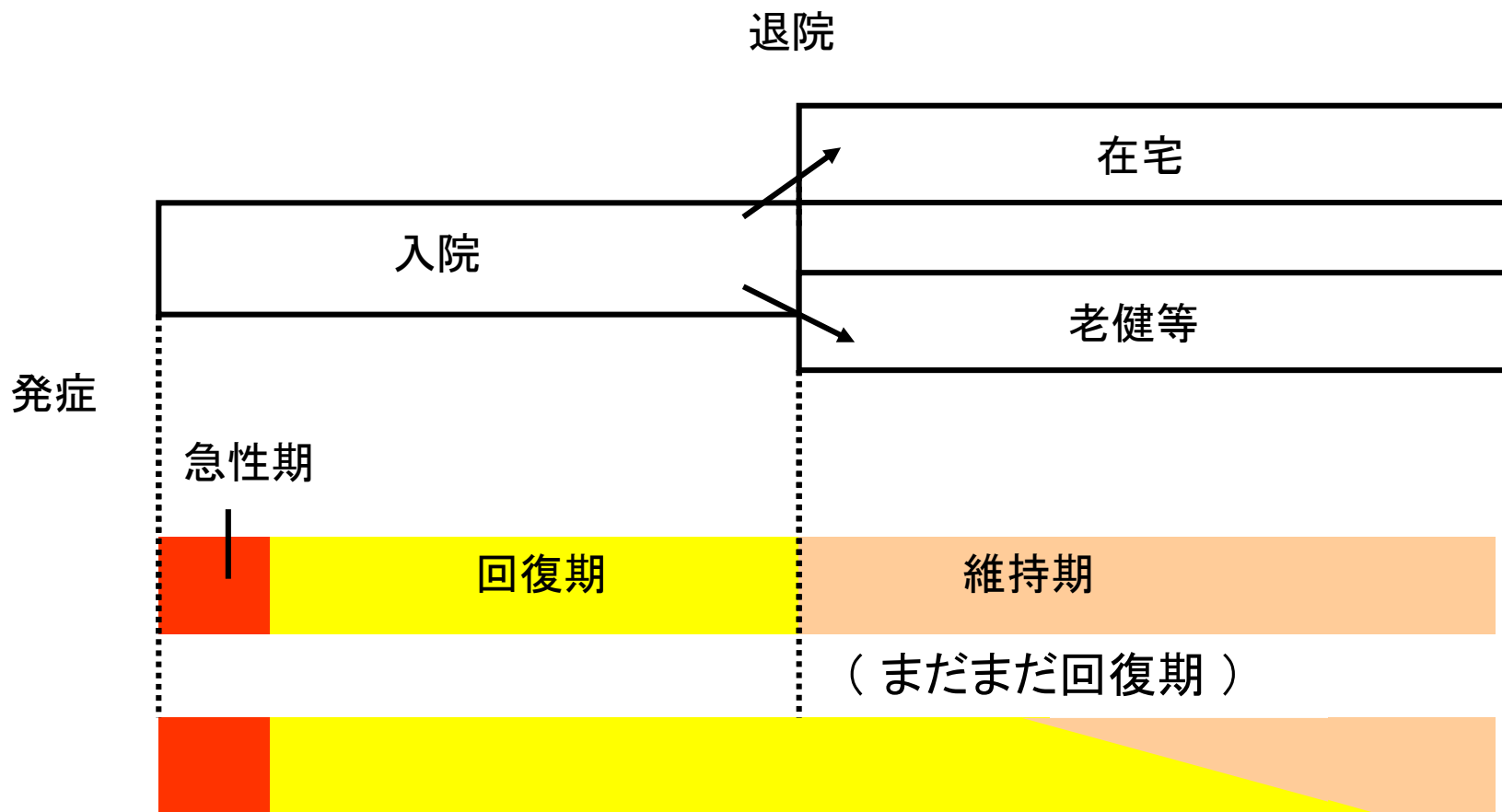
終末期リハ

大腿骨近位部骨折
整形疾患

認知症

小児

脳卒中発症後の経過



退院後の歩行の改善

車いすによる移動

⇒

手すりによる段差昇降

⇒

四点杖による昇降



2007年5月(退院時,
発症より6ヶ月経過)



同年10月
(発症より10ヶ月経過)



2011年5月
(発症より4年経過)

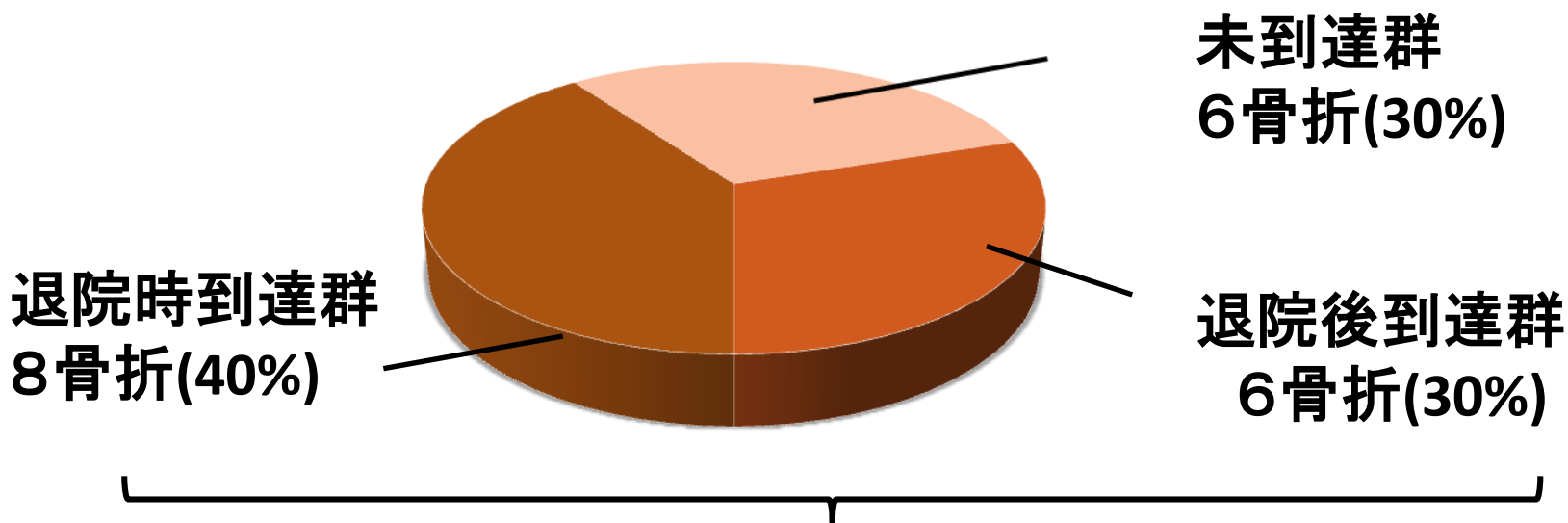
大腿骨近位部骨折の歩行機能

どのような経過をたどったかにより、下記の4群に分類

退院時到達群・・・退院時に、受傷前の自立度に至った群

退院後到達群・・・退院時には、受傷前の自立度に至らなかったが、退院後に到達した群

未到達群・・・退院時に受傷前の自立度に至らず、その後も、受傷前の自立度には至らなかった群



退院時，退院後，合わせて**70%**は，受傷前の自立度に至った。

神経難病

- 筋萎縮性側索硬化症 (ALS),
- パーキンソン関連疾患
- 脊髄小脳変性症 (SCD), 多系統萎縮症
- 球脊髄性筋萎縮症

目的とポイント

- ・疾患そのものの進行を遅延させることはリハビリでは困難。疾患に伴う廃用症候群の発生, 進行を予防する。

小児

- ・脳性まひ
- ・筋ジストロフィ
- ・ペルテス病
- ・二分脊椎
- ・精神運動発達遅滞
- ・脊髄性筋委縮症
- ・他

目的とポイント

- ・就学
- ・進路
- ・体育, 部活への参加

両親, 学校との関わり
担当者会議への参加

1 5 在宅患者訪問薬剤管理指導料

- 1 同一建物居住者以外の場合 500 点
- 2 同一建物居住者の場合 350 点

あらかじめ在宅患者訪問薬剤管理指導を行う旨を地方厚生局長等に届け出た保険薬局において、1については、在宅で療養を行ってる患者（当該患者と同一の建物に居住する他の患者に対して当該保険薬局が同一日に訪問薬剤管理指導を行う場合の当該患者（以下「同一建物居住者」という。）を除く。）であって**通院が困難なものに対して**、2については、在宅で療養を行っている患者（同一建物居住者に限る。）であって通院が困難なものに対して、医師の指示に基づき、保険薬剤師が薬学的管理指導計画を策定し、患家を訪問して、薬学的管理及び指導を行った場合に、1と2を合わせて月4回（がん末期患者及び中心静脈栄養法の対象患者については、週2回かつ月8回）に限り算定する。

通所リハに通うことができれば、訪問リハビリは算定できない？

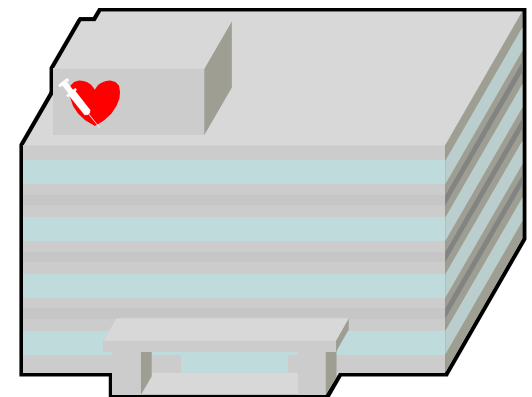
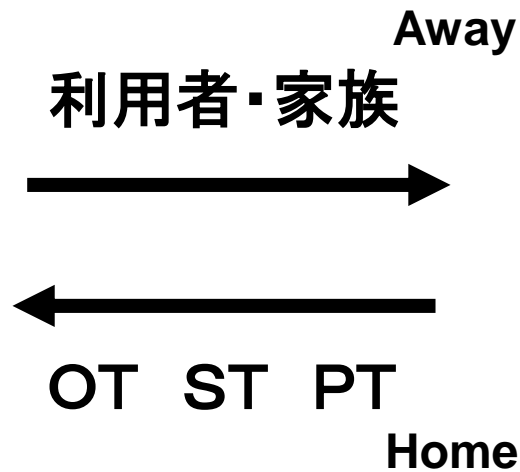
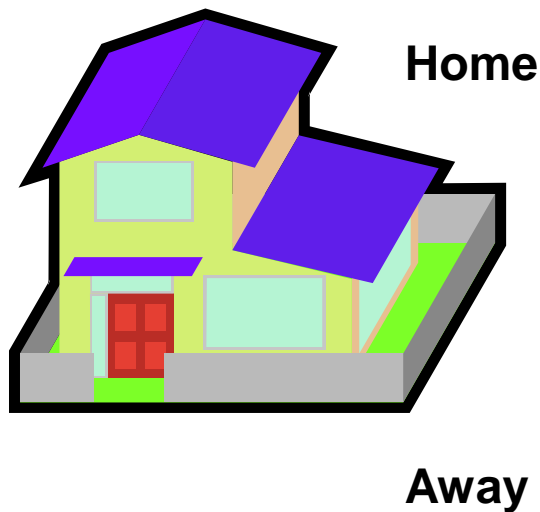
(老企36号)

訪問リハビリテーションは「通院が困難な利用者」に対して給付することとされているが、通院によるリハビリテーションのみでは、家屋内におけるADLの自立が困難である場合の家屋状況の確認を含めた訪問リハビリテーションの提供など、ケアマネジメントの結果、必要と判断された場合は訪問リハビリテーションを算定できるものである。「通院が困難な利用者」の趣旨は、通院により、同様のサービスが担保されるのであれば、通院サービスを優先すべきということである。

ホーム home と, アウェイ away

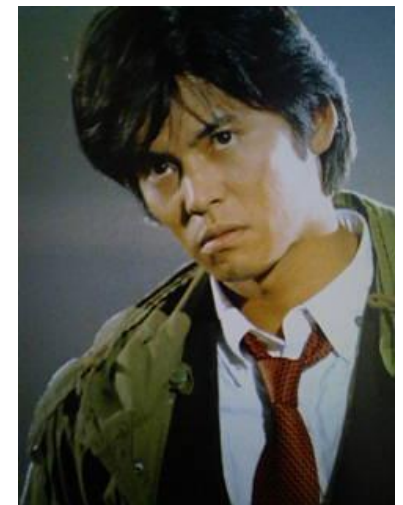
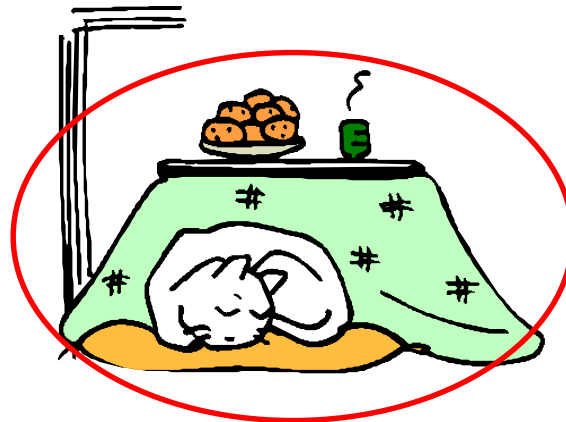
訪問リハ

入院 外来
デイケア デイサービス



事件は **カンファレンスルーム** で
起こってるんじゃない。

生活の場 で起きてるんだ!



『床からの立ち上がり』動作



株式会社 コムラ製作所
Being Independent for Each and Every One of Us

独立宣言. シリーズ

ツイスト

安心・快適・便利



たたみや床からの
立ち上がりが辛い方に！

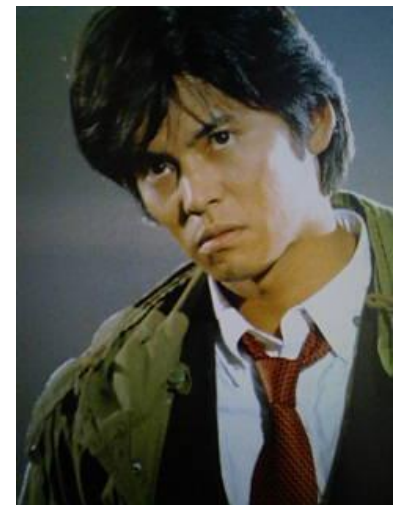
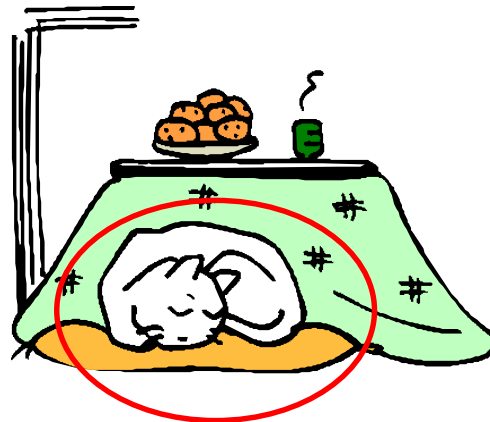


使いやすさのアイデアいっぱい！

※写真は旧仕様です。

事件は **カンファレンスルーム** で
起こってるんじゃない。

生活の場 で起きてるんだ!





患者さんが一所懸命リハビリしている間、
私のカバンの上で寝てしまった猫のRくん








3. 訪問時の様子と、訪問時以外の様子

「先生の前だと、かっこいいとこ見せようとして
がんばるんですよー。」

「(パーキンソンのケース)訪問リハビリのいらっしゃる時間帯が、
一番調子がいい時間帯ですね。」

訪問しているそのときにどうかよりも、
訪問日以外の状態を把握すること

訪問以外の日はどうしてるの？

			 10:00 ~ 10:40			
日	月	火	水	木	金	土



1日の生活を通じて、頸部，体幹を伸展する機会が一切ない。

リハビリと薬剤師の連携に関するアンケート調査

- 対象：新潟市訪問リハビリテーション勉強会に参加している理学療法士，作業療法士，言語聴覚士
- 方法：メールによる質問と回答
- 回答した施設数：7施設 回答者数：23

問1.

あなたは訪問リハを行う際、利用者の服薬している薬の内容を確認しますか？

- ① 必ず確認する。 10
- ② 必要な場合のみ確認する。 17
- ③ 確認しない。 0

問2.

②の「必要な場合のみ確認する」と答えた方「必要な場合」とはどのような場合ですか？（自由記載）

- ・高血圧症を合併している場合（同意見5　）
- ・神経難病（パーキンソン病等）の場合（同意見5　）
- ・糖尿病を合併している場合（同意見1　）
- ・薬剤性ミオパチー
- ・骨粗鬆症を合併している場合
- ・心疾患や脳血管疾患等，必ず服薬しなければいけない薬を飲んでいる場合。
- ・抗うつ剤，抗精神薬
- ・眠剤（同意見1）
- ・痛み，痺れが強い場合，鎮痛剤が処方されている場合

- ・ぼんやりした感じが強いとき
- ・心身の状態が変化したとき、不安定なとき(同意見1)
- ・投薬内容, 量に変更があった場合(同意見1)
- ・日内変動がある場合
- ・薬の飲み方が体調、ADLに影響しそうな場合(同意見2)
- ・軽度認知症で一人暮らしの場合
- ・服薬の管理ができていない場合
- ・リハビリ実施後の効果、影響などリスクが高いと思われる方は確認するようにしています。

アンダーソン・土肥の基準

※血圧に関する項目のみ抜粋

I .運動を行わないほうがよい場合

2) 拡張期血圧120以上

3) 収縮期血圧200以上

II .途中で運動を中止する場合

4) 運動中、収縮期血圧40mmHg以上，または
拡張期血圧20mmHg以上，上昇した場合

問3.

あなたが訪問している利用者の服薬管理は十分
為されていますか？

① 十分為されている。 2

② 概ね為されている。 23

③ あまり為されていない。 1

④ 全くなされていない。 0

問4.

③、④と答えた方、為されていないのはどのようなケースが多いでしょうか？（自由記載）

- ・認知症で独居の高齢者
- ・本人の認知機能が低下し、家族にお願いしているが、その家族も認知的・精神的な問題があるケース
- ・認知症の方で、以前は服薬管理に問題がありましたが、現在はケアハウスに入所され、それからは、そこの職員から管理して頂き、問題はなくなった という方が1名います。

【ケース1】

腰部脊柱管狭窄症の夫と、認知症の妻の老々世帯



歩行の介助を行っていただけるように、ご家族を指導

I



セラピストによる
歩行の練習

II



歩行の練習と
“介助の練習”

III



家族による
介助歩行

問5.

その他、リハビリと薬について、思うところ、考えるところがあれば、記載してください。

- ・薬を内服することによって体調管理がなされ、安全にリハビリを実施することができると思っています。
- ・(リハ職種も)利用者から薬についても相談されることが結構あるので、一般的な返答ができる程度(薬事法に触れないよう注意しながら)の薬の知識はあった方がいいと思います。
- ・「薬を飲むと体がだるくなる」などと訴える方もおられるので、リハビリによる疲労の影響かを把握するためにも薬の副作用を知る必要があると感じています。
- ・頻尿(特に夜間)のため、睡眠不足で、訪リハ中に眠ってしまう方が、いらっしゃいます。

- ・新規の方で、カルテから情報をとるときに、わからないお薬たくさんです。
- ・10時や11時に訪問した際の朝食後の薬、14時や15時に訪問した際の昼食後の薬が、服用されずに残っていた場合、服用させた方が良いのか、いつも迷います。
- ・朝一番のリハビリで、本人起きたばかりで薬も飲んでないというケースがある。降圧剤など服薬しなければならない利用者の場合、すぐに飲んでも、どの程度時間が経ってから効いてくるのか、リハビリしても問題無いのかという事が分からない。
- ・血圧のコントロールや痛みのコントロールがされていないとリハビリの進度に大きく関わるので、リハビリを行う上で薬の力は重要で、その知識を持つことも必要と思います。

- ・薬の知識があった方が良いとは思うものの、対応しきれないのが正直なところ。種類も多いし、同じ効果で違う名称の薬も多いので困る。
- ・以前、パーキンソン病の方で、服薬の変更で身体機能に影響があった方がいました。服薬状況の把握が重要な利用者様については、利用者様からお話を聞き、こまめに服薬の情報を得ることが重要だと思いました。
- ・基本的に投薬、服薬の内容についての相談には、主治医や薬剤師に確認するよう本人・家族に促すとともに、ケアマネに報告し、かかりつけ医への報告書に記載する・・・という形で対応しています（訪問看護や訪問薬剤師を利用されている方は、そちらの方へも報告します）。
- ・訪問リハ実施に際して、特に痛みを訴える症例が多いため、その場合相談しやすい窓口があると良い

ある利用者さんのご家族との会話

私 「いや～、最近、肩が痛くなりましてね。四十肩です。なかなか治らないですよ。」

Fa 「へー、リハビリの先生でも、治せないんですね。うちに湿布がいっぱいありますから、あげますよ。持ってってください。」

【ケース2】

認知症の夫による介護を受けるALS



【ケース3】

訪問リハ開始まで、部屋から一切出ることのなかった男性



【ケース4】

重度肥満の妻を介助してどうにか階段昇降を行わせているご主人



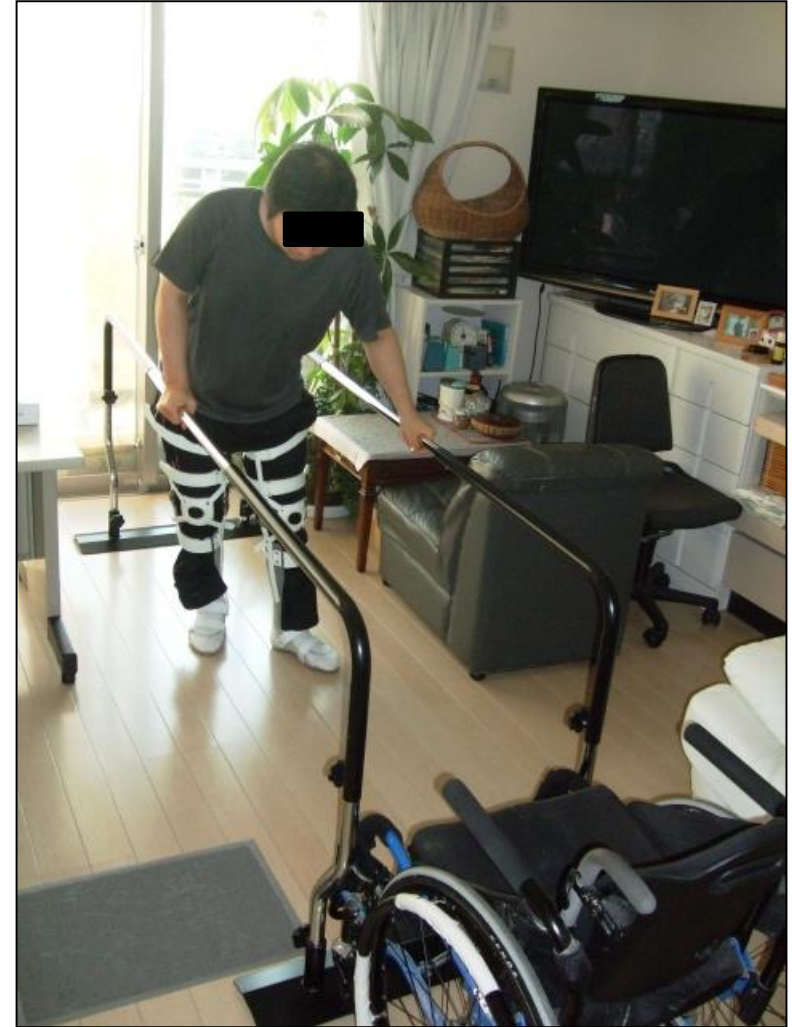
【ケース5】

重度の高次脳機能障害(社会的行動障害)を
有する兄の介護を行う妹さん



妹さんが服薬管理、通院介助、失禁の後始末、その他、、、。

**【ケース6】
IPS細胞の実用化を夢見て、
自宅で歩行の練習を続ける
頸髄損傷のケース**



【ケース7】

コミュニケーションのとれない夫に
常に語りかけながら、
献身的な介護を続ける妻



【ケース8】

気管切開を行うか否か迷い続けるALSの男性

“一度，呼吸器をつけたら，今の法律では，外せないんでしょ？”

“私だって，ホントは死にたくはないですよ。”

“でも妻に迷惑はかけたくないんですよ。”

“結局，最後には，苦しくて，「着けてくれ」って，言うかもしれないけどね。”



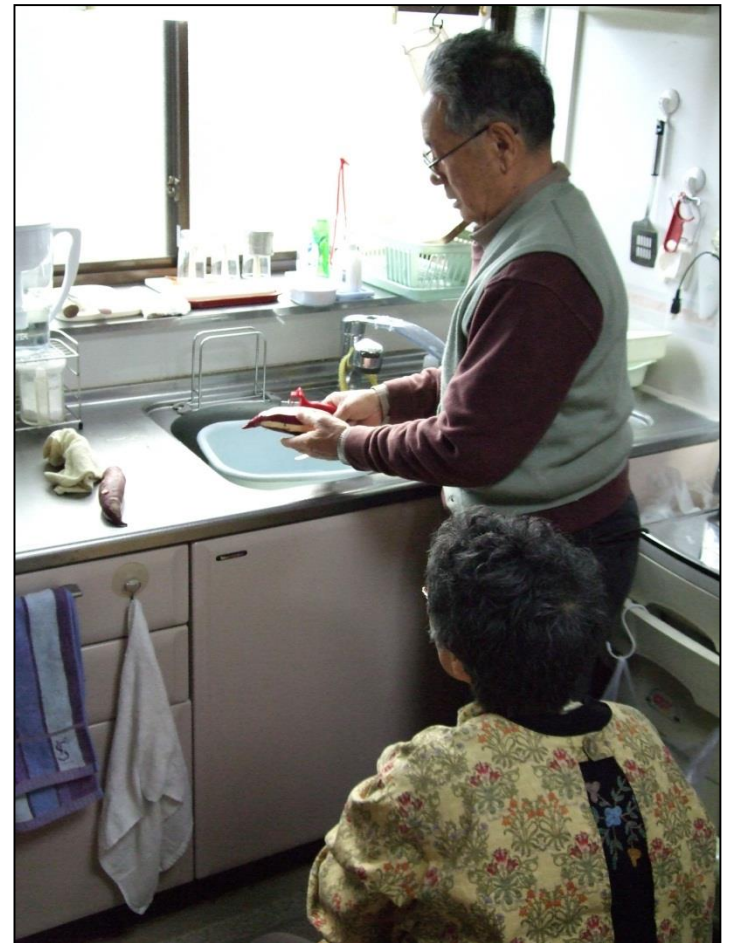
【ケース9】

気管切開を行ったこと
により、二人の孫に会う
ことが出来たALSの男
性



【ケース10】

妻が脳卒中を発症したことにより80歳にして、
初めて台所に立った旦那さん



夫と二人で、ミシンをかける



退院後の歩行の改善

車いすによる移動

⇒

手すりによる段差昇降

⇒

四点杖による昇降



2007年5月(退院時,
発症より6ヶ月経過)



同年10月
(発症より10ヶ月経過)



2011年5月
(発症より4年経過)



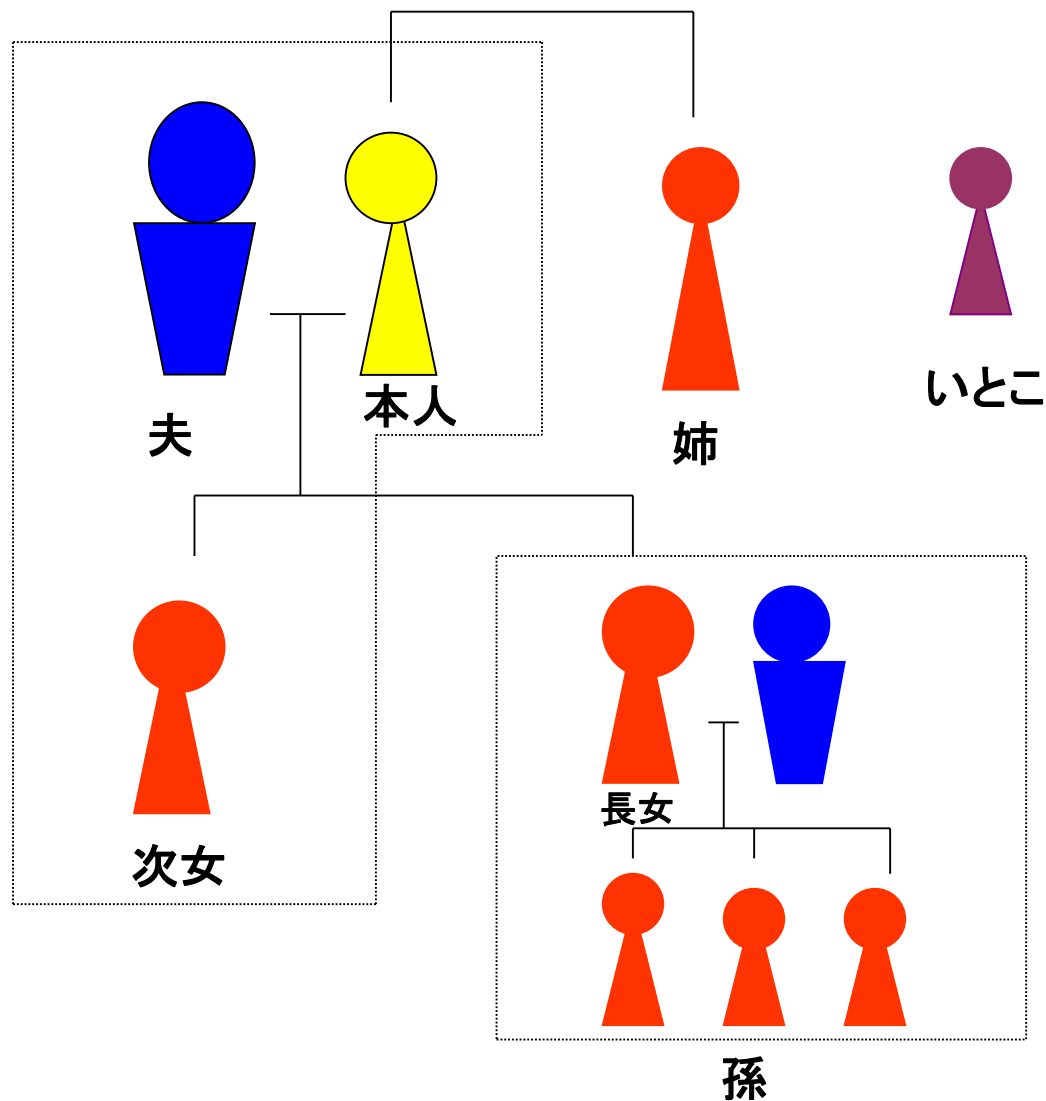
ありがとう
ございます！

まー、
よくなったわねー！

がんばってねー！

家の前を歩く練習をしていると、近所の人たちが励ましてくれました。

私たちの仕事の対象は...



当たり前だけど、あの人も最初から車いすだった訳ではない...





終わりに

アンケート結果より

“カンファレンスに薬剤師の方が出席して下さったことが一度ありましたが、本当に心強かったです。”

ご清聴ありがとうございました。

